

心に残る文化財子ども塾 島根県立松江養護学校高等部

10月20日（月）、島根県立松江養護学校高等部のみなさんと「心にのこる文化財子ども塾」を行いました。

今回は、高等部14名の皆さんが参加し、松江市南郊にある山代二子塚古墳や出雲国府跡、八雲立つ風土記の丘展示学習館などを、文化財専門職員と半日をかけてめぐるバスツアーでした。

まず、はじめに、学校の近くで見つかった西川津遺跡についての説明を行いました。この遺跡は、朝酌川の河川改修や、道路の建設に先だって発掘調査を行った遺跡で、この成果をもとにいにしえの川津の様子について解説しました。

やがてバスが目的の古墳や遺跡に到着すると、バスを降りて現地を見学し、発掘調査の様子等についての解説をしました。八雲立つ風土記の丘展示学習館では、訪れた古墳や遺跡から出土した土器や埴輪などが展示されており、生徒のみなさんは熱心に見学されていました。また、公園内に復元された古代の建物跡の中に入ったり、保存されている岡田山1号墳の横穴式石室に入ったりして、普段の教科書での学習とはひと味違った体験をしてもらうことができました。

松江養護学校のみなさん、ありがとうございました。

【生徒のみなさんの感想より】

○一番心に残ったことは？

- ・古墳の大きさ、形が判った
- ・山代二子塚が大きかった
- ・石室の中に入れたこと

○もっと知りたいことは？

- ・市内の古墳を見たい
- ・他の埴輪を見たい
- ・昔の人の暮らし、服装を知りたい

【先生の感想より】

- ・地域の文化財に実際に接することができ、地域の良さを再発見できた
- ・今度は昔の生活を体験するような体験型の活動もしてみたい